

各 位

2022年6月16日
株式会社インプレス

スマホ1台でネットショップやSNS投稿に使う商品写真が綺麗に撮れる！
『すみません 素人でも仕事の写真を上手に撮影する方法ってないですか？ できればスマホで』を6月16日（木）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、撮影が苦手な人でも魅力的な商品写真をスマホ1台で撮影できる書籍『すみません 素人でも仕事の写真を上手に撮影する方法ってないですか？ できればスマホで』を2022年6月16日（木）に発売いたします。



■自社で販売している商品、自分で制作した作品の写真をスマホ1台で撮影する方法を紹介

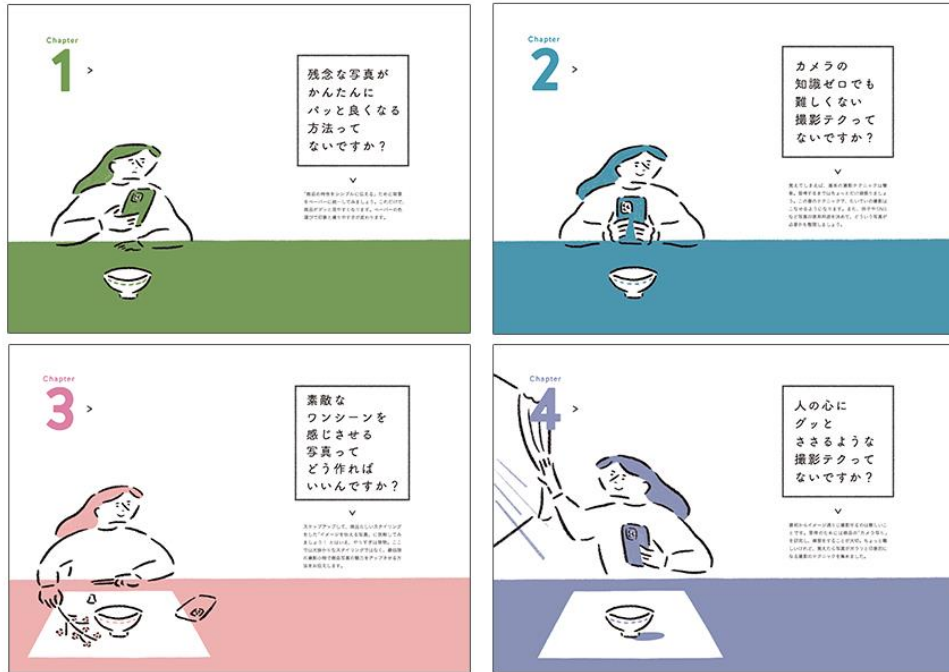
SNSの普及やオンライン販売の機会が増え、またスピードや費用の都合で、プロではないカメラ知識ゼロの初心者が、自社の商品や自分で作った作品の写真を撮影しなくてはならない機会が増えています。SNSやオンラインショップに掲載されるそうした写真は、商品の売れ行きを左右するため、撮影初心者でもある程度クオリティの高い写真を求められるようになっていきます。しかし、初心者にとって魅力的な商品写真を撮影することは簡単ではありません。

本書では、そんな初心者でもスマホ1台でできる、「心にささる」「買いたくなる」商品写真の撮影方法を、数々の企業向けカメラ講座などを手掛けてきた矢島直美氏が解説しています。

■プロじゃなくてもできる！残念な写真がかんたんに良くなるテクニック&スタイリングアイデアを収録

本書は撮影初心者が特別な機材を使わずスマホ1台で、商品の魅力が伝わる写真が撮れることに特化した1冊です。Chapter1では背景紙1枚でシンプルに綺麗な商品写真を撮影する方法、Chapter2では基本の撮影テクニックを紹介しており、撮影に苦手意識のある人でも、まずはこの2章をマスターすればOKな内容になっています。さらに、Chapter3では小物1~2個からトライできる簡単なスタイリング写真の撮り方、Chapter4では光やボケを使った印象的な写真の撮影方法などを紹介しており、お客様の心をつかむための、世界観のある写真にもチャレンジできる内容となっています。

解説写真ではアクセサリー、雑貨、洋服、料理など様々なアイテムを取り上げており、それぞれの目的や撮影の悩みに応じた撮り方が学べます。この1冊で商品写真の撮り方をマスターできる内容となっています。



書籍は全4章で解説。書籍を読めば自分の写真がイマイチだった理由もわかり、写真の魅力もアップします。(画像は書籍の章扉)

▼紙面イメージ

Chapter 1

06

カラーペーパー

写真に雰囲気作りをしたい

カラーペーパーで 華やかに演出しよう



かわいく見せたいときはカラフルに、高級感を出したいときは落ち着いた色のペーパーなど、雰囲気演出するのに効果的です。

▼ 同系色で統一感

商品と同系色のカラーペーパーを使うと、まとまりのある世界観になり、商品の持つ色のイメージを伝えやすくなります。ただし、商品より鮮やかな色味だと商品が目立ちにくくなることもあるので要注意!



商品より鮮やかで、商品が目立ちにくい



商品と同系色で色味が統一感がある

▼ 反対色で商品を引き立てる

商品の色味と反対の色を用いると、商品が目立ち、インパクトのある写真に。ただし、背景が目立ちすぎないように商品よりも彩度の高いペーパーは避けましょう。



商品より背景紙の赤が目立つ



商品に目が留まりやすい

▼ Check

商品への色の反射が目立つペーパーはNG

右の写真は色の組み合わせは良いですが、商品に黄色が反射し、実物と異なって見えます。反射はカメラアングルを変えることで軽減することもできますが、商品がどう見えるかも観察しましょう。



Chapter1では背景紙1枚で商品を魅力的に撮影する方法を紹介。グレー、ブルー、ピンクなど、背景紙の色を変えれば色々な雰囲気演出ができます。

06

アングル

形、厚み、奥行きを伝えたい!

立体物はやや斜め上からのアングルで

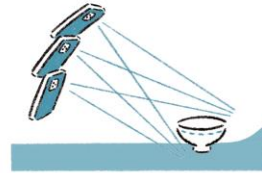


食べ物や食器など立体的な商品の形、厚み、奥行きを伝えたい場合は、斜め上からのアングルで撮影しましょう。最も定番で自然に見えるアングルです。

058

▼
カメラを斜め上から構える

商品の上面や横面も同時に見せたいときは、イラストのように商品を斜め上から見下ろすようにカメラを構えます。立体的な物は見せたい箇所が多いため、形がよく見える角度にこだわしましょう!

▼
悩んだら少しずつアングルをずらして

撮影時にアングルが見極められないときはほんの少しずつずらして何枚か撮影し、商品がよく見える位置を探りましょう。撮影してみて、後から写真を吟味すると、どのようなアングルで撮影すればいいのか感覚が慣れてきます。右の写真のようにすり鉢の形がバランス良く伝わる写真や、最後まで分かる物など、アングルによって見え方が変わります。



傾斜の形が分かりやすい



傾斜の形と内側の様子が見える



すり鉢の内側の様子が見える

059

そもそもカメラの使い方、撮影の方法がわからない人のために、Chapter2では撮影の基本を解説。難しく見える撮影をイラストと写真で丁寧に解説。

05

布・革

手軽だけど写真にニュアンスがつく

布と革の質感を足してラフ&上品に



布の質感はやわらかな印象になりやすく、革の艶や色味は、高級感を醸し出します。布のシワや革の端切れを活用してラフな表現もできます。

090

▼
きれいに敷くと上品に

布は無地やうさくない柄を選んで、アイロンをかけ、周囲をマステで軽く引っ張るように留めるとシワが付きにくいです。厚手だと軽やかに、厚手だと暖かい印象に。革は高級感のある印象になりますが、カラフルなフェイクレザーは上質でポップな印象にも。ランチョンマットなどに加工されている物は、端がきれいに処理されているのでおススメ。

▼
シワや端切れを活用してラフに

布をくしゅっとさせてできるシワを主かすと、やわらかい印象に。背景の全面に布を敷く以外にも、キッチンクロスなどの小さな布を無造作に置いたりしてもアクセントに。革の端切れは形が様々、形の良し物は、商品の背景に一部入れると味わいが増します。



091

使用イメージが伝わるスタイリング写真は商品が魅力的に見えて効果的であるものの、実践するにはハードルが高い。そこで、Chapter3では布や革、植物など小物を1~2個使った、初心者でもマネできるスタイリングアイデアを紹介。

10

構図と配置

はみ出して臨場感を

スタイリング小物をあえて見切れるように写す



主役の商品は画面内に丸ごと収めて、周辺のスタイリング小物は画面外にはみ出るように置くと、画面に広がりと使用時の臨場感が感じられる仕上がりになります。

136



▼
四隅を小物で埋め尽くさない方がすっきり

スタイリング小物のお皿や布、植物などを見切れるように置くと写真のアクセントに。用意した物がやや大きかったとしても、一部だけ画面内に入れば気になりません。また、四隅を小物で埋めてしまうと窮屈な印象になるので、物を置かない部分を作るとメリハリが生まれスッキリとした印象になります。

▼

小物をラフに置くと自然な印象がアップ

左ページのタオルの置き方などは、実際はこういった使い方はしません。実際のシーンに忠実であることよりも、見た目重視でOK。主役の商品は、画面の中心や下部に置くことで安定感が出てバランスがとりやすいのでおすすめ。全体的に商品や小物をラフに配置すると自然な雰囲気になります。配置は難しいですが、まずは何も考えずに並べてみて、そこから少しずつ整えていきます。この配置の沼にハマると時間を取られますが、根気よく何枚も撮影しましょう！



137

Chapter4はスタイリング小物のバランスの良い置き方、半逆光を使った撮影方法、補正など、見る人の印象に残る写真にするためのステップアップテクニックを紹介。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・会社の商品やサービスを紹介するための写真を撮影したい人
- ・ECやネットショップの運営している方
- ・独学で宣伝・商品写真の撮影方法を学んでいるが上達に悩んでいる人
- ・初心者でも実践できるテクニックで、なおかつ、できれば高価なカメラを買わずにiPhoneやスマホカメラで商品写真を撮影したい人

■本書の目次

Chapter1: 残念な写真がかんたんにパツと良くなる方法ってないですか?

Chapter2: カメラの知識ゼロでも難しくない撮影テクってないですか?

Chapter3: 素敵なワンシーンを感じさせる写真ってどう作ればいいんですか?

Chapter4: 人の心にグッとささるような撮影テクってないですか?

■書誌情報



書名：すみません

素人でも仕事の写真を上手に撮影する方法ってないですか？
できればスマホで

著者：矢島直美

発売日：2022年6月16日（木）

ページ数：160ページ

サイズ：A5正寸

定価：1,760円（本体1,600円＋税10%）

電子版価格：1,760円（本体1,600円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295- 01403-4

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295014036/>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1120101128>

■著者プロフィール

たのしいカメラ学校 矢島直美（やじまなおみ）

株式会社エチカ代表。雑誌「カメラ日和（第一プロGRESS）」を企画、カメラと写真にまつわる面白さを等身大に伝える雑誌として好評を博す。編集長を経て独立、現在は企業広告等のディレクション・撮影を手掛ける傍ら、写真教室「たのしいカメラ学校」を主催。一般向けの講座のほか、Apple JapanのiPhone カメラセミナーや良品計画をはじめとする企業向けのカメラ研修、住田美容専門学校の撮影の授業の非常勤講師を務める。著書に『たのしいカメラ学校の教科書 カメラ1 年生「デジタル一眼カメラ編」「iPhone・スマホ写真編』』（インプレス）がある。

HP: <http://etica.jp/> Instagram : @tanoshiicamera

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,500万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。